

議長（生田目久夫君） 次，45番高木将君の発言を許します。

〔45番 高木将君登壇〕

45番（高木将君） 45番高木将でございます。私は3件通告してございますので、随時発言をしてまいります。質問をしてまいります。よろしくお願いいたします。特に教育長におかれましては、多くの議員からの質問が相次ぎましてお疲れだと思っております。最後となると思っております。よろしくお願いいたします。それから、執行部の皆様方のお手元にお配りさせていただきました文書ですが、一部割愛させていただきます。

まず1件目の、殺人事件が頻発する中、幼小児の安全対策についてでございますけれども、まずご冥福をお祈りしたいと思います。

さて、この事件は、多くの議員の皆さんからの質問の中で、それぞれの、今までにない教育委員会、そして執行部の対応が教育長のもとで発表されました。その中で、お忘れになった方もいらっしゃるかもしれませんが、これは決して人ごとではございませんで、ことしの3月11日15時15分ごろ、小里小学校からの帰宅途中の当市内小学校6年生の児童が車に連れ込まれた事件が起きたことがございました。

幸いに、このときには、車に連れ込まれた後に、解放されました。一步間違えば今回の事件と同じようになる可能性もあったということ、これを忘れてはならないと思っております。

そして、これまでのご答弁の中で、お聞きしている中で幾つか問題点を思いました。1つ感じますが、地域子ども安全ボランティアの皆様方、約600名、517名とかいう数字もあったようでありましてけれども、約600名の方の登録がある現在ではありますけれども、この方々の名簿が会員の方々には手渡されていないということでございます。

現在は、個人情報保護の観点からそのような措置がとられたのかなというふうに考えますけれども、安全・安心の地域づくりに意識の高い方々の組織でもありますので、せめて小学校区単位でよいかと思っておりますので、地域のボランティアの方々と小学校の先生方が顔を合わせ、相互認識と理解をした上で名簿の配布も必要ではないかなと考えております。いかがでしょうか。事件発生時、及び事件と、不審者の車両とか人物が発見されたときに連絡をとり合うことができるようなシステムづくりも必要だと思っております。この点について、1点お尋ねをしておきたいと思っております。

それから2点目ですが、平成18年度予算編成に当たり、合併時の調整項目の進捗についてとうたっております。これにつきましても、数々の議員の皆さんから同様の質問がございましたので、一部割愛して、自分のつくった文書ですが読ませていただきたいと思います。

市長のお話の中でもありましたように、合併時の調整項目のおおむね80%は調整済みだが、残り20%が未調整であるとのこと。そして、それらについては介護保険税、国民健康保険税の額のアップを予定しなければならないなど、市民の皆様方に負担をさせていただかざるを得ない項目が多数あるとのことございました。できれば、その具体的内容をお聞かせ願えればと思っております。

これは、3月の18年度予算審査の段階で明らかになるわけでありませけれども、執行部側が経費の削減をさまざまな形で行っている。けれども、財政状況の中でいたし方ない状況の中で、市民の皆様にご理解を得なければならない。そのためにも、1日でも早く公表できるものは公表して、どのような内容であるのか市民の皆様方にご理解をいただく、そのような観点で質問させていただくわけでありませ。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

3点目に、市道改良と整備についてでございますけれども、道路整備につきましては、従来から、町会長、区長、学校などを通じて、その整備について陳情書や要望書が寄せられ、担当課により現地確認などのもとで予算に反映されることが多いわけでありませ。行政がみずから、その必要性から、地域市民の皆様にご理解を得ながら計画した市道整備計画もあるわけでございます。

そこで1点、新宿西宮線の現在の状況と今後の対応についてをお伺ひしたいと思ひませ。これにつきましては、私が住んでおります地域、その西側の進徳幼稚園のところまでは開通しているわけでありませが、その後につきましては進展がございませ。地域住民の方々から、そして地域を利用する車両の運転をするの方々から、いつになったらできるんだらうねというような話も昨今になって聞くような機会が多くなっております。そのような観点でお伺ひをしたいと思います。

さらに、現在進められております、国・県道整備にあわせた交差点の形状、いわゆる隅切りとか、取りつけ道路の整備計画など、さらなる市道整備も求められると思ひませが、今後の計画についてあわせてお伺ひをしたいと思います。

1回目の質問を終わらせていただきます。

議長（生田目久夫君） 答弁を求めませ。教育長。

〔教育長 小林啓徳君登壇〕

教育長（小林啓徳君） 幼小児の安全対策についてのご質問にお答えをいたします。

地域子ども安全ボランティアについてでございますが、議員ご指摘のとおり、個人情報保護の問題もありませ、会員の間の名簿配布はしておりませでしたが、会員にさらなる活動の協力要請をした際、了解を得ておりますので、各学校ごとに会員による連絡会を開くように話をいたしました。既に話し合いが行われておりませ、横の連携を密にした組織的な活動が行われております。巡回の方も強化をされてきております。

なお各学校では、今までも、運動会、ふれあい祭り、収穫祭などの学校行事等に会員を紹介し、交流を深めてきております。協力を得るためには、日ごろの交流が極めて大切でございますので、今後もさらなる交流・連携が密になるように、学校関係者とも話し合いをしていきたいというふうにご考慮しております。

議長（生田目久夫君） 保健福祉部長。

〔保健福祉部長 増子修君登壇〕

保健福祉部長（増子修君） それでは、平成18年度予算編成に当たり、合併時の調整

項目の進捗についての中で、まず介護保険税の状況でございますが、介護保険料率の合併協議会の調整方針では、第1号被保険者保険料については平成17年度までは現行のとおりとし、平成18年度から第3期介護保険事業計画によりまして算出した保険料率に統一するとされております。

この調整方針に基づきまして、現在、平成18年度から20年度までの3カ年を1期としました第3期計画の中で、来年度から制度改正される予防重視型システムへの転換としての新予防給付及び地域支援事業の創設、新たなサービス体系の確立としての地域密着型サービス及び地域包括支援センター等の創設などを踏まえて、高齢者人口、要介護等認定者、各種サービスの利用者数及び見込み量について推計をしております、現在、保険料率の試算中でございます。

それから、次に国民健康保険関連の税の関係でございますが、国保税の不均一課税につきましては、やはり合併調整方針におきまして、新市において、国民健康保険事業の健全で円滑な運営が図れるよう速やかに調整するとされております、現在、この方針にのっとり調整を進めております。

調整の基本的な考えとしましては、過去の実績をもとに、平成18年度から20年の3カ年における保険給付費を含むすべての歳出、これに見合う国保税、国庫支出金、一般会計繰入金等の歳入のすべてについて試算をしております。また、被保険者の動向についても、年齢区分ごと、これは3歳未満とか、3歳から70歳未満、70歳以上に推計しまして、さらにそれに応じた1人当たりの年間保険給付費を算出しまして、全体の保険給付費について試算を行い、1人当たりの税額について試算をしているところでございます。なお、保険給付費の急激な伸びが予想される中ではございますが、保険税に与える影響も大きくなるのが予想されますので、精査に精査を加えまして、現在、シミュレーションを行っているところでございます。

議長（生田目久夫君） 建設部長。

〔建設部長 榊勝雄君登壇〕

建設部長（榊勝雄君） 市道の改良・整備についてお答えをいたします。

最初に新宿西宮線の今後の見通しについてでございますが、都市計画道路新宿西宮線は、鯨ヶ丘の高台と、その東西に広がった新市街地を高架橋で結ぶ街路として計画され、国道349号バイパスから進徳幼稚園までの区間1,140メートルの整備を行ったところでございます。西側区間につきましては、共有地7筆の相続手続の問題や、境界未確定の土地が多く存在していることから、早期の用地取得が困難であるため、平成14年度から補助事業について休止をしている状況でございます。整備事業の進捗には境界問題が最重要課題でありますので、現在、この解決に向け、権利者の確定等の調査を行っているところであり、西側区間の整備につきましては、まだ期間を要する状態であります。

しかしながら、新宿西宮線の現道が国道293号に接続している箇所は、道路幅員が狭く、車両同士のすれ違いが困難な状況となっておりますことから、進徳幼稚園から国道2

93号に接続する区間のうち、延長111メートルにつきましては、暫定的な整備ではございますが、車道幅員を5.5メートルに拡幅し、一部区間には歩道を整備する工事を今年中に発注、契約し、今年度事業で実施する予定となっております。

次に、国道・県道整備と市道整備計画の整合性についてお答えをいたします。本市の道路整備は、広域的骨格軸として、南部地区を東西に国道の293号線、南北に349号が、北部地区には国道461号が東西に横断しており、これに他の幹線道路が連絡し合い、道路網を形成し、それぞれ整備促進を図っているところでございます。その中で、交差点の改良を計画する場合には、道路交通安全処理のため、道路管理者あるいは県警と、交差点の形状、交差角、交差点の間隔等について協議をし、計画を策定しているところでございます。

現在、世矢小学校東側、国道293号バイパスの交差点箇所ですが、市道のつけかえ工事を行っております。直角にすることによって安全の確保を図っている。それから、同じく293号線の小目町の川中子の交差点の改良ということで、小中学校の通学路及び国道の渋滞解消ということで、交差点の改良を行っております。さらに、今後、国道461号の整備をする中で、交差点の改良につきましても、市道の円滑な交通を考慮して計画をしてまいりたいと考えております。

次に、今後の市道整備計画といたしまして、主な事業といたしましては、地方道路の整備臨時交付金事業として、里野宮白羽線、大門幹線、磯部天神林線、そして粟原小島線等を予定しておりますし、道整備交付金事業としては高柿千寿線、あるいは過疎対策事業債として、蛸橋岸内線の改良計画、あるいは過疎代行としての七反田代線、これらについて計画をして整備を図っていきたいと考えております。

議長（生田目久夫君） 45番高木将君。

〔45番 高木将君登壇〕

45番（高木将君） 今度は順番を変えますけれども、2点目ではありますが、これらにつきましては、18年度予算編成に関するところでございますけれども、市長は、選挙のときにおきまして、徹底した行財政の改革と情報公開、市民との協働を前面に打ち出して当選なさったわけでございます。今度の18年度の予算編成が、大久保市長の最初の、実質上の予算編成になるわけでありますので、先ほど申し上げました徹底した行財政の改革、情報公開、市民との協働、これらを念頭に置いた予算編成に邁進していただきますようお願いを申し上げます。

それから、市道改良と整備についてでありますけれども、これらにつきましても、今後、今年度、111メートルについてが、歩道整備も含めて整備予定だというご報告をいただきました。そのほかにもさまざまな路線について、この交差点改良等を含めました整備計画について推進してまいりたいという積極的なご答弁をいただきました。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

さて、1件目の幼児の安全対策でございますけれども、ボランティアの方々、地域子

ども安全ボランティアの方々のお話も先ほどさせていただきました。ご答弁をいただいたわけでありませけれども、多くの議員の皆さんへのご答弁の中に、学校長及びPTAの連絡、町会長、区長、班長への回覧板の送達時の理解と協力要請、それから帰宅時に最終的に単独になってしまう児童の把握と家族の出迎え要請、通学路危険箇所の再調査、それから登下校時の立哨活動の活発化、地域自警団結成の働きかけ、市長発案によります防災無線による事件防止への協力放送、それからきょうの新聞にも出ておりましたけれども、「地域安全パトロール中」というステッカーの公用車への張りつけと巡回、さらには老人クラブ連合会への要請、青少年健全育成常陸太田市民の会、青少年相談員等々、数多くの団体や市民の方々のご理解のもと、このような殺傷事件が二度と起きないようにという思いが今回特に強くなり、そのような対応になったわけでありませけれども、問題はやはり、先ほどの教育長の山口議員への答弁の中にも初動体制という言葉が出てまいりました。その初動体制というのは本当に大切なことであって、犯人が自暴自棄になって犯行が連続することも想定しなければならぬのではないかなというふうに考えております。

実は、その3月の事件のときにも、私自身、問題点として事件メモをつくらせてもらいました。事件が連続して発生する可能性がある中で、各学校の対応がまちまちであったこと、特に、この連続して発生する可能性もあるという、そういった中では、やはり初動体制の確立、その初動体制というのは、横の連絡がどのようにとれるかということだと思っております。

先ほど地域子ども安全ボランティアの方々の名簿の件について述べさせていただきましたけれども、組織づくりのための組織をつくるということではなくて、連携をとるためにどのようにしたらいいかということは今後も念頭に置きまして、いつ発生するかわからないのが事件でありますので、いち早い対応を、連携づくりといいますか、そういったものをお願いしたいと思います。教育長もおっしゃっていましたように、これが絶対ということとは多分ないと思います。おっしゃるとおりだと思いますけれども、ぜひよろしく願いをいたします。

そして、最後をお願いを申し上げたいと思います。先ほど、大声を出す、逃げるという、いわゆる訓練といいますか、そのときの対応のためにということで、それを学校で教えていくということが重要だというお話もございましたけれども、もう一つ、人を信じることも教えていただきたいと思います。

そうは言っても、父親・母親が子供を殺してしまうような時代なので、家族といえども信じられないような時代になってきているのかなという思いもございませけれども、せめて子供の心の中に、人を信じない、信じてはいけないというようなことが芽生えないような教育も、教えるもしていただきたい。そのためにも、道徳教育の中で、その辺のところを重要点としてとらえていただいて、教育に当たっていただければと思います。どうぞその点をよろしく願いを申し上げまして、私の一般質問を終わらせていただきます。